

第4次丸亀市生涯学習推進計画
進化管理表
(令和5年度)

丸亀市協働推進部まなび文化課

令和6年10月29日

成果指標一覧

基本 目標	基本 施策	指 標 項 目	基準値 (令和2年 度)	令和4年度	令和5年度	目標値 (令和7年度)
1	(1)	オンライン講座実施数	0件	3件	1件	5件
		主な社会教育施設（注1）利用者数	381,244人	492,076人	505,017人	400,000人
	(2)	ジュニアリーダーが新たに養成された人数（延べ）	5人／年	9人	10 19人	25人／4年
		市民学級の参加者数	461人	618人	750人	600人
	(3)	地域いきいき講座の参加者数	3,351人	7,533人	9,835人	3,500人→8,000人 ※令和5年度 目標値変更
2	(4)	生涯学習人材バンク登録者数	0人	55人	51人	100人
		NPO、企業、大学等による講座の企画・提案講座数	年間5講座	7講座	6講座	年間6講座
	(5)	地域コーディネーター（注2）養成者数	年間12人	9人	3人	年間12人
		生涯学習クラブ登録団体数	354団体	328団体	319団体	360団体
3	(6)	地域学校協働活動（注3）とコミュニティ・スクール（注4）の一体的推進に係る研修会参加者数	年間0人	24人	8人	年間30人
	(7)	家庭教育事業参加者数	3,125人	1,794人	1,999人	3,500人
		少年団体指導者研修会参加者数	62人	50人	44人	80人

（注1）主な社会教育施設・・・生涯学習センター（児童館除く）→＜新市民会館開館後は、新市民会館＞、飯山総合学習センター、東小川公民館、図書館（中央・綾歌・飯山）、コミュニティセンター

（注2）地域コーディネーター・・・学校と地域の橋渡し役として、学校の抱える諸問題と地域活動を結び付け、子どもの育ちや学びを支えていく体制づくりを推進する者

（注3）地域学校協働活動・・・地域の高齢者や保護者、PTAなど、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動

（注4）コミュニティ・スクール・・・地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、地域住民や保護者等の意見を学校運営に反映させる仕組みとして、「学校運営協議会」を設置している学校

基本目標1 多様な学びのための環境づくり

基本施策（1）だれでも学べる場の提供

《具体的施策①》 ICTの活用

会場に来られない方や若い世代の方など、新たな層の参加を促すために、生涯学習の新たな形として、オンラインなどを活用した講座や研修の開催、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報発信を行います。

主な取組	関連部署
・ オンラインを用いた市民学級の開催 ・ 高齢者向けオンライン講座（レベル別）の開催 ・ 社会教育施設やコミュニティセンターの職員向けオンライン講座事前研修の開催 ・ SNSを活用した各種情報発信	秘書課 デジタル活用推進課 地域づくり課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
「子育て世代のお金と健康の講座」をオンライン受講可能講座として実施。 （受講者13人のうち12人が初受講）
令和5年度の取組内容に対する評価
オンライン受講可能講座は「子育て世代のお金と健康の講座」のみであったため、対象や内容によってオンラインで開催可能な講座についてはオンラインでの開催も検討する必要がある。
令和6年度の事業計画
市民学級「子育て世代のお金と健康の講座」をオンライン受講可能講座として開催予定。

回答部署 秘書課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
既存のFacebook、X、Instagram、YouTubeに加え、8月からは市公式LINEによる情報配信を開始した。
令和5年度の取組内容に対する評価
ホームページにおいて関心の高いページへのリンクをメニュー画面に設置するなど、利用者の利便性向上に努めた。また、情報発信の際にはテキストだけでなく、画像も添付することで発信情報への興味を引く工夫を凝らすことができた。
令和6年度の事業計画
市公式LINEの友だち数を増やす取り組みとして、デジタルギフトプレゼントキャンペーンを実施する予定としている。

回答部署 デジタル活用推進課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・昨年度に引き続き、高齢者向けに民間事業者と連携して、無料のスマホ教室を開催した。 ・丸亀シルバー人材センター、本島、広島地区のコミュニティセンターで計39会開催し175人が参加した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・高齢者が身近な場所でスマホを安全に使うためのポイントや、メール、SNS等の利用方法を学ぶことができる機会を提供できた。
令和6年度の事業計画
・前年同様、民間事業者と連携して無料のスマホ教室を開催する。

回答部署 地域づくり課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
コミュニティセンターが独自で、携帯会社と連携し、スマホの使い方の教室を開催した。また、携帯会社主催にて、綾歌や飯山のコミュニティセンターを会場にスマホの使い方講座を開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
スマホの使い方の教室は、多数の申し込みがあり、教室の必要性を感じた。
令和6年度の事業計画
市と携帯会社が連携しコミュニティセンターでスマホの使い方教室を開催する。

《具体的施策②》公共施設の有効活用

学びの場として、生涯学習センターや図書館などの既存の社会教育施設だけでなく、マルタスや今後建設予定の新市民会館に設けられる様々な機能も積極的に活用します。

主な取組	関連部署
・市民学級の開催 ・「児童館」を活用した学習機会の提供 ・幼稚園、保育所（園）、認定こども園での発達段階に応じた絵本の読み聞かせ ・蔵書絵本の充実、保護者に向けた本の紹介、リスト作成、貸出 ・生涯学習クラブ活動への支援 ・新市民会館の整備、管理運営計画策定	子育て支援課 幼保運営課 図書館 まなび文化課（文化振興担当・生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・令和5年度市民学級を生涯学習センター、飯山総合学習センター、マルタスを主な会場として計34講座開催し、750名の受講があった。 ・生涯学習クラブに施設使用料の減免措置を継続した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・昨年度に引き続き、積極的にマルタスを活用したことにより参加者に新しい施設に慣れ親しんでもらうことができた。また、ボートレース丸亀や高松地方裁判所丸亀支部への施設見学も実施し、社会教育施設ではない施設についても活用することができた。
令和6年度の事業計画
・令和6年度の市民学級は、丸亀城の石垣復旧現場の見学や新しいスポーツ施設の見学も取り入れ、計32講座を予定している。 ・生涯学習クラブに施設使用料の減免措置を継続する。

回答部署 まなび文化課（文化振興担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・新市民会館の工事は令和7年9月末の竣工を目指し進めた。
- ・新市民会館の使用料金等を定める条例改正を行った。
- ・新市民会館の指定管理者候補者を選定し、12月定例会の議決を経て指定管理者を決定した。
- ・課題解決型実践事業は6つのテーマで計41回、アーティスト・コーディネーター養成講座は4回実施した。
- ・文化芸術推進サポーター養成講座の一環として市民劇の公演を開催した。

令和5年度の取組内容に対する評価

- ・新市民会館の工事は、工事監理業者や施工業者と打合せを密にしながら進めることができた。
- ・新市民会館の使用料は、受益者負担割合について十分に精査した上で、条例改正を行った。
- ・指定管理者の選定は、募集要項や評価項目などを専門委員とともに十分に検討した上で、適切に行うことができた。
- ・課題解決型実践事業は、コロナ禍の制限が解除されたことから、今年度は「子ども」「高齢者」「障がい者」を対象に幅広く事業を実施し、事業評価も丁寧に行った。
- ・サポーター養成講座では、市民劇の公演を通して、コアサポーターが企画、制作、運営する実践的な能力開発やサポーターのネットワーク構築につながり、新市民会館の運営を担う人材育成を図ることができた。
- ・アーティスト・コーディネーター養成講座は、文化芸術が社会や個人に与える影響について理解を深めるとともに、受講者同士が議論できる時間を設けることで、自発的な学びの場を提供できた。また、経験者コースを新設し、地元のアーティスト等の参加を促したことは、参加者から高い評価を得たが、新規参加者が少なかったことや、学んだことを参加者自らが講座の中で実践する機会がなかったことが反省点として挙げられた。

令和6年度の事業計画

- ・継続して新市民会館の整備工事を実施する。
- ・新市民会館の指定管理者に事業の引継ぎを行うとともに、より内容を充実させて課題解決型実践事業を実施する。
- ・文化芸術推進サポーター養成講座を開催する。
- ・Webライター塾を開催する。
- ・アーティスト・コーディネーター養成講座を開催する。

回答部署 子育て支援課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・遊びを通じて様々なことが体験できる居場所の提供を行った。児童館来館者数34,790人（R4 31,942人） ・児童館のイベント（こども夏の集い、クリスマス会等）では、安全に考慮しつつ、学校や年齢の異なる交流の場の提供を行った。 ・地域ボランティアや学生ボランティアを増やし、地域（コミュニティや自治会、中学・高校など）の異なる年齢層の交流の場の提供を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
・イベント等の人数制限も緩和され、年間来場者数は増加した。
令和6年度の事業計画
・引き続き、定期的にイベントを開催するとともに、SNSや市のホームページなどで周知をしていく。

回答部署 幼保運営課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
子どもたちは、遠足で丸亀城や、令和5年度にボートレースまるがめにオープンした「グリーンまるがめ」「モーヴィまるがめ」を訪問し、健やかな身体づくりを進めた。また、子育て支援センターでは、未就園の幼児親子を対象に、育児相談を行う等して子育てを支援した。
令和5年度の取組内容に対する評価
公共施設を学びの場として有効に活用できた。
令和6年度の事業計画
子育て支援センターの利用を呼びかけるとともに、「グリーンまるがめ」「モーヴィまるがめ」の訪問を推奨する。

回答部署 図書館

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
蔵書絵本の充実に努め、毎月の絵本特集の展示や図書館ホームページへの特集リストの掲載を行なった。また、月1回マルタスで開催しているおはなし会にて、保護者に向けて特集絵本の紹介やリストの配布を行なった。
令和5年度の取組内容に対する評価
毎月の特集は大変好評で、ほとんどの絵本が貸出に出ている状況であった。マルタスでの絵本の紹介やリストの配布も引き続き行なっていき、子どもとその保護者により絵本や読み聞かせを身近に感じてもらうように努める。
令和6年度の事業計画
昨年度の取組内容を継続しつつ、より子どもとその保護者が興味を持つような毎月の絵本特集を考えること。マルタスで開催しているおはなし会でも図書館や蔵書絵本について積極的に周知し、さらに貸出冊数が増加するように目指す。

《具体的施策③》コミュニティセンターにおける生涯学習活動の包括的支援

地域における生涯学習活動の拠点であるコミュニティセンターを活用し、地域における生涯学習活動を包括的に支援します。

主な取組	関連部署
- 生涯学習クラブ活動への支援 - 地域における生涯学習活動の相談対応 - 地域課題解決に向けた講座の充実	地域づくり課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
- 生涯学習クラブがコミュニティセンターで活動する際の施設使用料の減免措置を行った。（島しょ部を除く15コミュニティセンター、1分館） - 生涯学習推進員に向けた研修を2回行った。また、生涯学習推進員が交代した際には、生涯学習推進員についての説明を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
- 生涯学習クラブ活動への支援は、条例に定められている減免措置のみである。 - 生涯学習推進員に向けた研修では、生涯学習推進員同士の意見交換の場と他市の取組状況を知る機会を設けることができたことは良かった。意見交換では、講座のマンネリ化や人員不足などの課題が多く出たため、普段から相談しやすい関係性を築いていく必要がある。
令和6年度の事業計画
- 生涯学習クラブがコミュニティセンターで活動する際の施設使用料の減免措置については、引き続き行っていく。 - 研修や意見交換の場を設け、生涯学習推進員とよりよい関係性を築く。

回答部署 地域づくり課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
各コミュニティのそれぞれの部会が、様々な行事を開催したり、まつりやイベントなど地域の方との交流を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
各コミュニティセンターにおいて、生涯学習に携わる職員やボランティアが不足している中、様々な交流やイベントを実施した。
令和6年度の事業計画
まつりやイベントの開催により、地域との交流を続けながら、コミュニティセンターにおける生涯学習活動の包括的支援を行いたい。

基本施策（２）ライフステージの課題に対応する学習機会の充実

〈具体的施策④〉青少年リーダーの育成

本市の将来を担うリーダーの育成に向けて、青少年の自立性・社会性を身につける体験活動や地域活動への参加機会の提供や視野を広げる活動を推進します。

主な取組	関連部署
・体験型活動の提供 ・交流都市との少年団体交歓研修の開催 ・子ども会によるジュニアリーダーの養成支援 ・新成人との協働による成人式の開催	学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・自然体験活動（キャンプ協会委託：延べ395人参加）、少年体験活動（讃岐広島・小手島・手島活性化協議会委託：親子16組参加）を開催した。 ・親子都市の北海道京極町と交歓研修会を実施した。（8月受入） ・令和6年二十歳の成人式では、実行委員8名と式典を開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・体験型活動の提供として、少年体験活動事業を行い、様々な年齢層や立場の人たちと関わりながらキャンプやクラフト制作などの活動を通し、子どもたちのコミュニケーション能力や責任感、協調性などを育む機会を提供することができた。 ・京極町との交歓研修会では、京極高朗公の墓所を訪れるなど、両市町の歴史を学ぶ機会を通して、子ども同士の親交を深めることができた。
令和6年度の事業計画
・京極町との交歓研修会は、派遣を予定している。 ・二十歳の成人式において実行委員を募集し、式典に携わってもらう予定である。

回答部署 学校教育課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
小学校では、地域の方を指導者にお招きした米作りや野菜作り体験、地域のクリーン活動への参加を行った。中学校では、地元企業を中心に様々な職種の企業に協力していただき、地元企業PR事業や職場体験学習を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
市内小中学校において、発達段階に応じた体験活動を、それぞれのねらいを明確にし行うことができた。体験前後の事前・事後指導を充実することで、児童生徒の意欲や充実感の向上が見られた。
令和6年度の事業計画
昨年度までと同様、各小中学校において、発達段階に応じた体験活動を、それぞれのねらいを明確にし計画的に行っていく。

≪具体的施策⑤≫働く世代や子育て世代の学ぶ機会の充実

働く世代や子育て世代に対し、参加しやすい内容等を考慮した学習機会を提供します。

主な取組	関連部署
・オンラインでの市民学級の開催 ・民間団体等が主催する講座、研修会の情報発信 ・生涯学習センター、公民館等社会教育施設主催講座（メنز料理教室、親子リトミックなど）の情報提供	健康課 子育て支援課 幼保運営課 学校教育課 図書館 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・子育て世代を対象とした市民学級「子育て世代のお金と健康の講座」をオンライン受講可能講座として開催した。（申込者13人のうちオンライン受講5人）また、託児の希望にも対応し、子育て世代が参加しやすい講座とした。 ・生涯学習課窓口に放送大学や生涯学習センターで開催する講座のチラシを設置した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・子育て世代向けの講座だけに限らず、すべての講座において託児の希望に対応できるような体制をとることができた。 ・オンライン講座を子育て世代向けの講座以外に実施することができなかった。
令和6年度の事業計画
・市民学級「子育て世代のお金と健康の講座」をオンライン受講可能講座として開催予定。

回答部署 健康課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
マイナス1歳の子育て講座の開催を会場参加とオンラインで参加するハイブリッド方式で講座を実施した。
令和5年度の取組内容に対する評価
参加者171組中7組がオンラインを利用して教室に参加した。アンケート結果などから、妊娠中の体調を心配することなく参加できる、人数制限なく家族で参加できることなどから、オンライン方法での実施を評価する内容があった。
令和6年度の事業計画
引き続き、年間12回ある教室開催について、ハイブリッド方式とあわせて実施する。

回答部署 子育て支援課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
対象となる人が参加しやすい時間帯や曜日を考慮した親子講座（オンライン含む）を開催し、交流の場を提供した。 （親子ふれあいあそび、ママ＆パパの会など） NPO等が実施する講座の情報を発信した。（丸亀市ホームページ「みてねっと」など）
令和5年度の取組内容に対する評価
参加アンケートでは、大部分が良好な評価をいただいている。
令和6年度の事業計画
引き続き、参加しやすい講座を企画していく。 開催する講座等を多くの人に認知されるよう、市のホームページやSNSなどでも周知する。

回答部署 幼保運営課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
保護者に対し、民間団体主催の講座や社会施設主催講座の情報提供を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
コロナ禍の影響が残る中、各種行事の情報提供を通じ、学習機会の充実を図れた。
令和6年度の事業計画
各種行事の情報提供のほか保護者向けの講座を開催し、学習機会の確保に努める。

回答部署 学校教育課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
丸亀市PTA連絡協議会主催の丸亀市PTA合同研修会に後援として協力し、各小中学校で会員に向け、パンフレットの配布とPTA役員への周知及び参加依頼を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
久しぶりの対面での開催となり、88名が参加した。また、7月末までYouTubeでの配信を行っており、視聴回数は559回となっている。(R6.5.1現在)
令和6年度の事業計画
昨年度と同様、パンフレット配布やPTA役員への周知等について継続する。

回答部署 図書館

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
ポスターの掲示やチラシ・パンフレットの配布等、図書館の関連団体の講座やイベントの周知を行なった。依頼のあった民間団体と連携し、関連本の展示・貸出と団体についての情報発信を行なった。(例：R5. 4/13～5/31 特定非営利活動法人 未来ISSEY 展示)
令和5年度の取組内容に対する評価
関連団体との連携展示で関連本の貸出や資料配布を行うことにより、図書館来館者へ団体の周知や関連本の提供を行うことができた。
令和6年度の事業計画
今後も関連団体のポスター・チラシ等の掲示や連携展示の依頼を積極的に受け入れて実施していく。

《具体的施策⑥》高齢者の学習機会の充実

高齢者が今後の生き方を自ら積極的に考えるための、生きがいや暮らしにつながる講座、健康づくりのための講座等の学習機会を提供します。

主な取組	関連部署
・介護保険制度等、暮らしに直結する講座の開催（市民学級等） ・健康や福祉に関する知識を向上させるための講座の開催 ・高齢者のデジタル格差解消に向けた講座の開催	健康課 高齢者支援課 福祉課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・市民学級において、終活や税金に関する講座に加え高齢者向けのスマホ教室を開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・終活や税金（贈与税や相続税）、老後資金など関心が高い内容の講座を実施することができた。 また、高齢者向けのスマホ教室は少人数にきめ細やかな対応をしていただいたこともあり、参加者からは好評であった。
令和6年度の事業計画
・市民学級において税金、年金のほか損害保険や認知症についての講座を実施する。

回答部署 健康課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
市民を対象とした生活習慣病予防や健康づくりについての各種健康教育を各コミュニティセンターや保健センター等で計1,229回実施・延べ39,982人参加(内65歳以上の参加延べ35,370人)
令和5年度の取組内容に対する評価
感染症対策を行いながら、各種健康教育を実施。曜日の関係で回数・参加数とも前年より微減したが、あらゆる機会を捉えて健康づくりについて周知啓発できた。各コミュニティセンター等での講師による健康教育については、講師の選定や内容、周知等コミュニティと連携して実施でき、好評であった。
令和6年度の事業計画
前年度と同様に、あらゆる機会を捉えて健康づくりについて周知啓発していく。また、各コミュニティセンターや保健センター等で講師を招聘しての健康教育についてもコミュニティと連携して実施していく。

回答部署 高齢者支援課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・体操教室などの出前講座 13回実施 ・「元気いっぱい！長生き体操」 自治会など49か所で開催 ・「介護予防のための体操教室」 251回実施
令和5年度の取組内容に対する評価
体操教室などに参加していただくことで、自分自身の普段の生活において介護予防や健康などへの意識を持っていただくきっかけづくりに役立っている。
令和6年度の事業計画
体操教室は継続しながら、体操教室に特化したものばかりでなく、聞こえ、口腔、栄養等も盛り込んだフレイル予防教室を開催し、高齢者の健康づくりに取り組む。

回答部署 福祉課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・要請により、健康や福祉に関する知識を周知する出前講座を実施している
令和5年度の取組内容に対する評価
・令和5年度実績なし
令和6年度の事業計画
・今後も出前講座を通して健康や福祉に関する知識の向上に努める。

基本施策（3）現代的な課題に対応する学習機会の充実

〈具体的施策⑦〉生涯学習推進員による取組への支援

地域における生涯学習のキーパーソンとなり、学びを通して「人」や「地域」をつなぐ役割をもつ生涯学習推進員を支援し、コミュニティセンターを拠点として、日々の活動から見えてくる地域の課題やニーズを踏まえた生涯学習を推進します。

主な取組	関連部署
・地域いきいき講座の開催（まちづくり、防犯、防災などの地域課題や男女共同参画、消費者問題、環境問題、健康、介護などの現代的課題、子育てに関する様々な課題に対応した生涯学習講座） ・生涯学習推進員への相談対応の強化 ・地域いきいき講座で活用できる講師人材の紹介等による開催支援	地域づくり課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域いきいき講座の実施（16コミュニティ、379件、9,835人） ・講座の企画に際して、人材バンクの情報を提供した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・ほぼすべてのコミュニティで地域いきいき講座を実施することができた。実施できていないコミュニティに実施の呼びかけを行う。
令和6年度の事業計画
・地域いきいき講座の実施 ・生涯学習人材バンクの情報提供 ・研修や意見交換の場を設け、生涯学習推進員とよりよい関係性を築き、相談しやすい環境を作る。

回答部署 地域づくり課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
コミュニティセンターでは、様々な内容の教室や講座を開催した。また、防災意識の向上のために、合同防災訓練を実施し、162名の参加があった。会訓練後に、「温故知新で大規模地震に備える」と題して講演を開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
教室や講座、訓練等に多数参加されており、重要性を感じるため、今後も引き続き継続していきたい。
令和6年度の事業計画
地域の課題など様々な課題に対応した教室や研修を開催したい。

《具体的施策⑧》多様な立場の学習支援（障がい者、外国人など）

障がい者に配慮した学習情報やスポーツ・文化にふれる機会を提供し、社会活動への参加を支援します。

地域に暮らす外国人住民に、生活に関わる学習機会や地域住民との異文化交流・国際理解を深める場を提供します。

主な取組	関連部署
・多文化共生につながる講座の開催（多文化共生日本語教室、異文化理解講座、国際交流クッキング、写真パネル展）	秘書課
・障がい者向けスポーツ大会や教室の開催 ・地域出前文化教室の開催	福祉課 スポーツ推進課 まなび文化課（文化振興担当）

回答部署 秘書課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
日本語教室を開催し、外国人住民の日本語学習の支援を行なった。また、多文化交流事業では異文化理解講座や新たに姉妹都市となったヴィリッヒ市を含む交流都市の写真パネル展の実施により多文化交流を図るとともに、防災講座を開催し、地域住民としての外国人が災害などへの理解を深める機会となった。 多文化交流事業：防災バスツアー、外国人防災リーダー育成研修会への参加、国際交流クッキング、やさしい日本語講座、日本文化紹介講座（茶道体験）、交流都市パネル展
令和5年度の取組内容に対する評価
日本語教室を開催し、外国人住民の日本語学習機会の確保に努めた。また、多文化交流事業を実施し、異文化への理解を深める場を提供するだけでなく、多文化防災講座等の開催により、地域住民としての外国人が安心して暮らせるための取り組みを行うことができた。各種講座等を開催するにあたり他団体と連携して行うことで、次年度以降の事業に繋がる取り組みとなった。
令和6年度の事業計画
・日本語教室を開催し、日本語の学習支援を行う。 ・多文化共生に係る各種講座の開催（異文化理解講座、防災講座、写真パネル展等）

回答部署 福祉課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
障がい者スポーツ大会（10月）や障がい者スポーツレクリエーション教室を5回（44名参加）開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
障がい者やその家族等を対象に、障がい者の体力維持や余暇の場として、子どもから大人まで一緒に楽しんでスポーツをする機会を提供することができた。
令和6年度の事業計画
障がい者スポーツ大会・・・7月実施予定 障がい者スポーツレクリエーション教室・・・5回実施予定

回答部署 スポーツ推進課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
障がい者スポーツ大会（167人） 障がい者向けスポーツ教室（5回）
令和5年度の取組内容に対する評価
障がい者スポーツ大会はコロナ禍以降では初となり、成功裏に終了した
令和6年度の事業計画
障がい者向けスポーツ教室（5回） 障がい者スポーツ大会を7月に実施予定

回答部署 まなび文化課（文化振興担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・ 障害福祉施設を対象に行った文化芸術活動実態調査の結果を踏まえ、音楽やコンテンポラリーダンスのアウトリーチ事業を13回実施した。 ・ 障害の有無に関わらず誰でも参加しやすい音楽コンサートや演劇公演を実施した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・ 実態調査から、市内障害福祉サービス事業所等は文化芸術活動を行いたいものの、施設の人員不足などの理由で実施に至っていないという現状が確認できた。また、障害福祉サービス事業所に対しアウトリーチ事業を実施し、施設利用者の多様な資質と能力に、本人だけでなく施設職員にも気づいてもらう機会を提供できた。 ・ 音楽コンサートでは公演中に声を出したり、会場への入退出も自由にしたりするなど、障がいのある方や保護者が安心して鑑賞できる環境を整えることができた。また、演劇公演では、舞台手話通訳、字幕、音声ガイドをつけることで、聴覚や視覚に障がいのある方にも演劇を楽しんでいただくことができた。一方で、事業を踏まえさらなる配慮の必要性を認識したため、より多様な対象や状況でもサポートができるよう準備した上で、今後も実施したい。
令和6年度の事業計画
・ 指定管理者（福祉事業団）や文化振興事業協議会等との連携によるアウトリーチ事業の実施 ・ 上記に関して庁内の他部署との連携を図る

基本目標2 学びでつながり、学びを活かすまちづくり

基本施策（4）学びを通じたネットワークの形成

《具体的施策⑨》指導者人材の発掘、見える化

定住自立圏域市町との生涯学習人材に関する情報交換、登録制度を設け、コミュニティセンターや社会教育施設における各種研修、講座で活用します。

主な取組	関連部署
- 生涯学習人材バンク登録制度の構築 - 人材データベースの定住自立圏域市町との共有	政策課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
- 生涯学習人材バンクに令和4年度より4件減の51件の登録があり、1件活用があった。 - 定住自立圏域市町において、丸亀市の生涯学習人材バンクについて周知を行い、未整備の自治体において人材の掘り起こしとリスト化を進めた。
令和5年度の取組内容に対する評価
人材バンクの登録件数および活用件数は、昨年度を下回る結果となっており、人材バンクの目的や意義が上手く伝わっていないことに加え、人材バンク自体の周知広報も上手くいっていない。
令和6年度の事業計画
- 人材バンク登録数の最終目標である100件に向け、引き続き周知を行う。また、生涯学習推進員へ情報提供を行い、活用を促す。 - 定住自立圏域内においては、引き続き丸亀市の生涯学習人材バンクについて周知を行うとともに、令和5年度に行った人材の掘り起こしとリスト化を基に、人材バンクの整備に向けて検討を進める。

回答部署 政策課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
年度当初・予算編成前の2回、定住自立圏での関係市町間協議を依頼し、取組項目「生涯学習推進体制等の充実」において、生涯学習の人材データベースを構築するための進行管理に取り組んだ。
令和5年度の取組内容に対する評価
予定どおり取り組むことができた。
令和6年度の事業計画
引き続き、人材データベースの充実・圏域市町間での活用の推進に向けて進行管理を行う。

《具体的施策⑩》NPO、企業、大学等との積極的な連携・協働

NPOや企業、大学など、学びの機会を提供する団体等とのネットワークづくりを進め、主体的・効果的な学びにつなげます。

主な取組	関連部署
・NPO、企業、大学等の企画、提案による講座の開催 ・企業の社会貢献活動と連携したワークショップ等の開催 ・大学等の研究機関が実施するフィールドワークへの支援	まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・市民学級において、丸亀市文化財観光案内会（1講座：11名受講）、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会（1講座：15名受講）、コスモ不動産（1講座：8名受講）、四国職業能力開発大学校（3講座：65名）の提案型講座を開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・丸亀市文化財観光案内会と讃岐ジオパーク構想推進準備委員会の2団体から新規で提案があった。 ・提案型講座を行う団体にもっと利点があるような制度になるよう検討する必要がある。
令和6年度の事業計画
・引き続き提案型講座を募集し実施する。（令和6年度予定：丸亀市文化財観光案内会、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会、コスモ不動産、四国職業能力開発大学校）

《具体的施策⑪》生涯学習にもつながる他分野施策との相互連携

教育や福祉、スポーツや文化芸術など、生涯学習と関わりのある分野との連携・強化を図り、事業を展開します。

主な取組	関連部署
・スポーツを通じた地域づくり ・教育や福祉との文化芸術を通じた連携 ・マルタスとの連携	学校教育課 福祉課 スポーツ推進課 まなび文化課（文化振興担当・生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・健康課やゼロカーボン推進室、危機管理課と連携し、職員が講師となって市の取組についての講座を市民学級において実施した。 ・市民学級や地域コーディネーター養成塾などをマルタスで開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・他課と連携することによって、市民の関心が高い分野である健康や防災などについて、市の取組を紹介する機会を設けることができた。
令和6年度の事業計画
・スポーツ推進課や文化財保存活用課と連携し、新たなスポーツ施設や石垣復旧現場の見学や取組を説明する講座を実施する。

回答部署 まなび文化課（文化振興担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館では、ものづくりワークショップなどを23回行い、2,103人の参加があった。また、学校来館促進として、県内外の学校団体34件、1,573人を受け入れた。
- ・綾歌総合文化会館では、アウトリーチ事業として市内小学校やコミュニティで芸術鑑賞教室等を14回実施し、1,657人が参加した。
- ・文化振興事業協議会では、東小川児童センター、マルタス等で文化芸術アウトリーチ事業として、音楽や即興演劇の公演を11回実施し、422人が参加した。
- ・地域包括支援センターと連携し、民生委員等を対象に、演劇的な手法で認知症への理解と介護について考えるワークショップを実施した。

令和5年度の取組内容に対する評価

- ・丸亀市猪熊弦一郎現代美術館では、コテを使って壁をつくる左官職人の技術体験などのワークショップやスクール・プログラムを実施するなど多様な文化芸術体験を通じて教育的事業を実施できた。
- ・地域包括支援センターと連携したワークショップでは、認知症の方と介護者の両者を演じてみることで、認知症の方への理解や気遣い、コミュニケーションの取り方を考えるきっかけを提供できた。また、主な受講対象者を、地域社会を支える民生委員等にすることで、認知症における様々な課題には、当事者だけでなく地域全体で向き合う必要があるという認識を共有できた。
- ・コロナ禍での制限が解除されたことで、コミュニティーセンターや学校のほか、人が多く集まる公共施設でアウトリーチ事業を実施することが可能となり、多くの方に文化芸術に触れられる機会を提供できた。

令和6年度の事業計画

- ・「親子でMIMOCAの日」の実施
- ・舞台芸術等の鑑賞機会の提供
- ・課題解決型実践事業の実施

回答部署 学校教育課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果

- ・校長会等において、関係課からのスポーツや文化芸術のイベントの紹介を行った。
- ・「丸亀市部活動の地域との連携・協働」のロードマップに基づき、スポーツ推進課や文化課と連携を図り、地域人材の発掘や各課のイベントの周知等を行った。

令和5年度の取組内容に対する評価

- ・「丸亀市部活動の地域との連携・協働」のロードマップを作成したことで、方向性の共通理解が図られた中で推進することができている。

令和6年度の事業計画

丸亀市部活動検討委員会を定期的開催（年間2回以上）することで、スポーツや文化活動を通じた学校と地域との交流事業や地域人材の情報交換を行い、丸亀市の実情に応じた部活動改革を推進する。

回答部署 福祉課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
障がい者スポーツ大会（10月）や障がい者スポーツレクリエーション教室を5回（44名参加）開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
障がい者やその家族等を対象に、障がい者の体力維持や余暇の場として、子どもから大人まで一緒に楽しんでスポーツをする機会を提供することができた。
令和6年度の事業計画
障がい者スポーツ大会・・・7月実施予定 障がい者スポーツレクリエーション教室・・・5回実施予定 大会や教室の開催にあたっては、福祉団体、近隣の学生や福祉施設等と連携し、障がい者のスポーツの実施にかかる課題の解消や地域住民との交流を通して障がいのある方への理解促進に努めていく。

回答部署 スポーツ推進課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
チャレンジデー（65,827人） 香川丸亀国際ハーフマラソン大会（9,250人） 市民体育祭（1,200人） 中讃陸上競技大会（500人） ウエスタンリーグ公式戦（7,304人）
令和5年度の取組内容に対する評価
コロナ禍を経て参加者数も回復基調である。この調子で取り組む
令和6年度の事業計画
チャレンジウィーク 香川丸亀国際ハーフマラソン大会 市民体育祭 中讃陸上競技大会 ウエスタンリーグ公式戦

基本施策（５）学びの還元機会の創出

〈具体的施策⑫〉個人や団体が持つスキルを活かす場の創出

生涯学習活動を通じて得た知識や技能を活かす場面を、活動発表の一面だけでなく、幅広く多面的に捉える意識の醸成、啓発を図ります。併せて、様々な地域課題の解決において、必要な場面と求められる人材をつなぐコーディネート機能の強化に取り組みます。

主な取組	関連部署
- 生涯学習クラブによる活動発表機会の確保 - 地域学校協働活動への参画意識の啓発 - 地域貢献活動への参加促進に対する働きかけ - 社会教育士[※]の育成に向けた支援	まなび文化課（生涯学習担当）

※社会教育士…生涯学習や地域づくりについての専門的な知識を学んだ人材。行政だけでなく、企業や学校等、広く社会において活躍が期待されている。（文部科学大臣の委嘱を受けた大学等の教育機関が実施する講習や大学での養成課程を修了した人）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
- 丸亀中央生涯学習クラブ協議会への活動発表機会の支援として、事業補助金（18万円）を支出した。 - 地域学校協働活動に関する広報チラシを作成、配布した。 - 社会教育士の養成講座について関係機関へ情報提供を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
地域学校協働活動への参画意識を高めるため、引き続き幅広い層に啓発を行っていく必要がある。
令和6年度の事業計画
引き続き活動発表機会の確保を行う。

《具体的施策⑬》学校・地域における活動を支える人材の発掘・育成

学校や地域が抱える諸問題と地域学校協働活動を結びつけ、学校と地域の橋渡し役となる地域コーディネーターの発掘、育成及び支援を行います。

主な取組	関連部署
・地域コーディネーター養成塾の実施、受講者のニーズや各地域の状況に合わせた内容の充実 ・地域学校協働活動への参画意識の啓発 ・学校や地域が抱える諸問題解決のための人材交流及び意見交換会の開催	学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域コーディネーター養成塾を実施。（受講者4名、3名修了） ・地域学校協働活動に関する広報チラシを作成、配布した。 ・地域学校協働活動についての講座を市民学級で開催した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・地域コーディネーター養成塾の受講者が4名と少なかった。 ・地域学校協働活動への参画意識を高めるため、引き続き幅広い層に啓発を行っていく必要がある。
令和6年度の事業計画
・地域コーディネーター養成塾を実施予定。 ・地域学校協働活動に関するハンドブックを作成予定

回答部署 学校教育課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
学校運営協議会の委員に地域コーディネーターをしていただいている委員がいることを紹介し、今後も学校運営への積極的な参画、支援、協力をお願いした。
令和5年度の取組内容に対する評価
学校の運営状況を理解した上で、教育活動に協力してくださった。また、さまざまな視点からご意見をいただき、次年度構想の参考にもなった。
令和6年度の事業計画
さらに、地域コーディネーターの各連携協議会への参加を推進し、学校と地域の調整役となっていた。

基本目標3 まち全体が学校となる環境づくり

基本施策（6）地域と学校の連携・協働の推進

《具体的施策⑭》地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進

「学校を核とした地域づくり」を目指して、コミュニティ・スクールの仕組みと、地域学校協働活動の様々な活動を連携させることにより、それぞれがもつ役割が十分に機能し、相乗効果を発揮して、学校運営の改善と地域づくりに資する活動の活性化を推進します。

主な取組	関連部署
・学校や地域への地域コーディネーター養成塾などの研修機会の情報提供と参加促進の働きかけ ・小中・地域連携教育連携協議会での取組事例の紹介及び情報交換 ・国、県の情報活用及び全国的な取組事例の情報発信	学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・地域コーディネーター養成塾と県教委が主催する地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進に係る研修会について、各コミュニティおよび各小学校、各地域学校協働本部へ情報提供と受講の働きかけを行った。 ・活動中の地域コーディネーターおよび地域学校協働活動推進員へのフォローアップ研修（県外視察、意見交換）を地域コーディネーター養成塾において行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
・受講の働きかけを行ったものの、受講者数は少なかった。（地域コーディネーター養成塾4名受講、県教委主催研修8名参加）
令和6年度の事業計画
・他自治体への視察や意見交換などを内容に入れ、地域コーディネーター養成塾を計画中。

回答部署 学校教育課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
各学校群で年間2回の小中・地域連携教育連携協議会を開催し、各校での「小中連携」「地域連携」の取組について情報交換を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
「小中連携」については、交流活動を通して、児童生徒の学習活動がより豊かになるとともに、小学校から中学校へ滑らかな接続を図ることができた。また、情報交換することで、小学校と中学校それぞれが目標を共有化することもできた。「地域連携」については、各学校群の特色を生かし、地域人材の活用による円滑な連携を進めることができた。
令和6年度の事業計画
昨年度までと同様、各学校群で年間2回の小中・地域連携教育連携協議会を開催する。連携協議会で成果を検証し、学校、地域の実情に応じた取組の精選を図る。

《具体的施策⑮》地域で取り組む子どもの学習支援の充実

豊かな人間形成に役立ち、学習活動を通じた地域の活性化につながる地域の教育資源（人・場所・歴史・文化）を活かした学習・体験活動、子どもの居場所づくりを支援します。

主な取組	関連部署
- 地域の教育資源を活かした取組（地域学校協働活動の農業体験、放課後子供教室の学習支援等）の現地視察を通じて地元の活動に活かすよう働きかけ - 生涯学習人材バンク登録を通じて得た地域の教育資源を必要な活動場面につなぐ働きかけ	子育て支援課 幼保運営課 教）総務課 学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
- 地域コーディネーター養成塾において、県外視察（愛媛県新居浜市）を行った。 - 生涯学習人材バンクの登録情報を、各地区の生涯学習推進員へ提供した。
令和5年度の取組内容に対する評価
視察への参加人数は少なかったものの、視察先の活動内容等は参考になったとの感想があり視察を行ったことは良かったと思うが、それを地元の活動に活かすような働きかけまでは至っていない。
令和6年度の事業計画
- 引き続き地域コーディネーター養成塾の中で、視察を計画。より多くの参加者を募るとともに、地元の活動に活かせるような視察先を選定できるように調査する。 - 生涯学習推進員へ生涯学習人材バンクの情報を提供するとともに、利活用についても呼び掛ける

回答部署 子育て支援課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
- ひとり親家庭や生活困窮家庭を対象に、市内3か所ですながりの場を設置し、小中学生の学習支援と食事の提供を週1回程度実施した。 - こども食堂を市内で各支援団体が運営した。（9か所）
令和5年度の取組内容に対する評価
学習支援は塾等に行けていない児童が対象のため、好評であった。つながりの場では、フードパントリーや相談対応も実施し、保護者の支援にもつながった。
令和6年度の事業計画
引き続き、つながりの場やこども食堂の開設及び運営を支援する。

回答部署 幼保運営課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
子どもたちは地域の公園や歴史施設を訪問したり、農業体験あるいは郷土文化に触れあうなど、様々な学習・体験活動を行った。
令和5年度の取組内容に対する評価
地域の人と触れ合い、自然や文化に親しみ、子どもの学習・体験活動を支援することができた。
令和6年度の事業計画
各園と地域との絆は深く、地域の教育資源を活用して学習・体験活動を行い、子どもの成長を支援する。

回答部署 教育委員会総務課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
放課後子供教室を平日や長期休暇期間に行うことで、児童にとって様々な体験活動や地域交流を行える居場所となった。
令和5年度の取組内容に対する評価
昨年度より受け入れ児童数を増やしたり、活動日数の増加等により交流体験の場が広がったが、新規事業主の開拓では、チラシの配布や広報での周知を行ったが開室までには至らなかった。
令和6年度の事業計画
担い手不足の課題については、若い世代に興味・関心をもってもらうために高校生ボランティアの募集を行う。また、既存スタッフへの研修を開催し、資質向上を図る。

回答部署 学校教育課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
学校支援ボランティアの方々が、各校の実情、ニーズに応じて、あいさつ運動や野菜の栽培、ミシンや彫刻刀の指導の補助等に関わってくださった。
令和5年度の取組内容に対する評価
地域の方の協力を得ながら、自然体験活動や様々な意義のある活動を体験することができ、児童生徒の教育活動がより豊かなものとなった。
令和6年度の事業計画
定期的に協議をし、昨年度実施した活動を検証することで、更なる活動の充実を図る。

基本施策（７）地域・家庭の教育力の向上

＜具体的施策⑩＞家庭教育支援の充実

行政と保育所、幼稚園、認定こども園、学校、PTA、NPOなどが連携した、家庭教育に関する学習機会と情報提供の充実を図ります。

主な取組	関連部署
・母子保健支援事業を活用した家庭での健康づくり ・地域子育て支援拠点事業における家庭教育の場の充実 ・家庭教育事業（家庭教育セミナー、子育て学習会、家庭教育講座）の開催 ・ボランティア団体による本の読み聞かせ等	健康課 子育て支援課 幼保運営課 学校教育課 図書館 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・家庭教育事業（家庭教育セミナー：88人参加、子育て学習会：15小学校延べ921人参加、26幼保こ延べ516人参加、家庭教育講座：15小幼保こ延べ474人参加）を実施した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・家庭教育講座については、実施数がコロナ禍で大幅に減少したが、徐々に増加しているため家庭教育に関する学習機会の充実が図られている。
令和6年度の事業計画
・引き続き家庭教育事業（家庭教育セミナー、子育て学習会、家庭教育講座）を開催し、家庭教育に関する学習機会の充実と情報提供を図る。 ・講演形式の講座だけでなく、ワークショップをなどを取り入れ、参加者同士で学びを共有できるような講座の実施を促していきたい。

回答部署 健康課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・各地区コミュニティセンター等で実施するウエルカム広場参加者へ、毎月、季節や成長段階に応じたリーフレット「育19だより」を作成し、家庭で健康づくりに取り組めるよう保健指導を実施。 ・母子愛育班連絡協議会と連携し、連絡協議会主催または各地区愛育班活動等で、会員や地域住民が家庭で健康づくりに取り組めるような健康づくりに関する健康教育などを実施した。
令和5年度の取組内容に対する評価
・感染症対策をしながらウエルカム広場を開催し、2,691人の参加があった。11月は歯科医師会と連携し、歯科衛生士による保健指導を実施し、歯の健康づくりにも取り組んだ。 ・愛育班活動では、女性の健康や、感染症予防など季節ごとの健康づくり、心の健康づくりなどについて健康教育を実施。各地区愛育班活動で797人、市連絡協議会の研修会では386人の参加があった。
令和6年度の事業計画
・各地区コミュニティセンター等で継続してウエルカム広場を実施予定。妊娠期から健康づくりに取り組めるよう、母子保健推進員等と協力し参加を呼びかける。 ・愛育班では、市連絡協議会の研修会や各班での活動を計画。声をかけあって健診を受け、健康づくりに取り組めるよう支援する予定。 ・子育て支援アプリ「子育てナビ まるLou Lou」を活用し、健康づくり情報等について対象の属性に適した内容をプッシュ通知により発信する。

回答部署 子育て支援課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
多胎児育児に特化した取り組みや、0，1，2歳児の子育て家庭だけの参加に加えて、地域住民との世代間交流ができる。 「子育てフェスタ」を開催し、子育て家庭への情報提供や交流ができた。
令和5年度の取組内容に対する評価
子育て家庭の悩みや不安を相談できる場所となるよう、各拠点が工夫して取り組めた。 「子育てフェスタ」の開催も、こどもと保護者が参加し楽しめるイベントとして認識され、アンケートでも良好な評価をいただいている。
令和6年度の事業計画
子育て家庭の身近な場所として、拠点に足を運び参加することで、相談から支援へつながるように、継続して周知する。

回答部署 幼保運営課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
幼稚園等では家庭訪問を行う一方、子育て支援センターでは気軽に育児相談に応じるなどした。
令和5年度の取組内容に対する評価
保護者と話し合う機会をもち、また、子育て支援センターの活用を呼びかけ、家庭教育の支援を積極的に行えた。
令和6年度の事業計画
保護者との対話を通じて家庭教育に関する情報提供を行い、また、家庭教育に関する学習機会の充実を図る。

回答部署 学校教育課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
丸亀市PTA連絡協議会主催の丸亀市PTA合同研修会に後援として協力し、約90名の会員が参加した。
令和5年度の取組内容に対する評価
丸亀市PTA合同研修会はここ数年間、情報モラルに関する取組内容を継続している。5年度はスマホ依存防止学会認定アドバイザーを講師として迎え、専門的な視点から心身の弊害についての説明があり、幅広い年代層で高い関心が示された。
令和6年度の事業計画
丸亀市PTA連絡協議会では、これまでの取組内容を生かして、新たな視点での講演を予定している。YouTube配信について、視聴する機会を増加することにつながるため、継続する予定。

回答部署 図書館

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
読み聞かせに興味がある方（教育関係者・ボランティア・子どもをもつ保護者など）を対象とした研修会を市内の図書館3館で開催した。（参加者数：綾歌13名、中央30名、飯山28名）マルタスにておはなしの会くれよん、綾歌図書館にてマロンベア、飯山図書館にて図書館うさぎとももちゃんくらぶが、ボランティア団体として読み聞かせを実施した。
令和5年度の取組内容に対する評価
研修会には多くの申込があり、実施後に行なったアンケートでも大変好評であった。ボランティア団体による読み聞かせが、各館で定期的に行われているため、親子のコミュニケーションやスキンシップのためのよい時間・空間となっている。
令和6年度の事業計画
今年度も市内の図書館3館で、読み聞かせについての研修会を開催予定。ボランティアによる読み聞かせを引き続き実施していく。令和6年度から、おはなしの会くれよんの読み聞かせの開催場所が、マルタスから中央図書館へ移動。

≪具体的施策⑰≫社会教育関係団体等への育成支援

家庭や地域の教育力向上を図るため、様々な活動をする各種団体の支援・連携を行います。

主な取組	関連部署
・PTA、子ども会、ボーイ・ガールスカウトの支援 ・NPO法人等との協働事業の実施 ・少年団体指導者研修会の開催	学校教育課 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・丸亀市子ども会育成連絡協議会への運営補助（2,237千円）、ボーイスカウトおよびガールスカウト各1団に活動補助（22千円）を支出した。 ・少年団体指導者研修会を11/10に開催し、計44名の参加があった。
令和5年度の取組内容に対する評価
・補助金の交付による財政的な支援は行えたが、補助金交付以外の支援については取組に至っていない。 ・指導者研修会の内容については好評であったが、参加者数については昨年度より減少したため、できる限り各団体の指導者が興味を持つ内容となるよう協議する必要がある。
令和6年度の事業計画
・丸亀市子ども会育成連絡協議会への運営補助（2,310千円）、ボーイスカウトおよびガールスカウト各1団に活動補助（各22千円）を予算措置。 ・指導者研修会も開催予定。

回答部署 学校教育課

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
丸亀市PTA連絡協議会の事業に対し、各学校及び各学校単位PTAが協力しやすいよう働きかけ、PTA活動の活性化につながった。
令和5年度の取組内容に対する評価
新型コロナウイルス感染症の5類移行により、中止や縮小された行事が再開されるようになった。また、ポスターなど児童生徒の作品募集やPTA広報誌作成など、各学校や単位PTAに協力するよう働きかけ、優れた作品や広報誌が集まった。
令和6年度の事業計画
新型コロナウイルス感染症の流行以前のように、丸亀市PTA連絡協議会の事業が、通常に戻りつつある中、各学校や単位PTAが協力しやすい環境を継続していくとともに、任意団体としての周知については、地域の実態に応じて対応していく予定である。

≪具体的施策⑩≫家庭における読書活動の推進

子どもが本に親しむきっかけをつかみ、読書習慣を身に付けていくための支援を行います。

主な取組	関連部署
・うちどく(家読)の推進 ・ブックスタート、セカンドブック等の実施 ・コミュニティセンターの読書環境の充実	図書館 まなび文化課（生涯学習担当）

回答部署 まなび文化課（生涯学習担当）

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
・家庭における読書活動の推進にかかる取組には至っていない。
令和5年度の取組内容に対する評価
・具体的な取組には至っていないため、評価ができない。
令和6年度の事業計画
・生涯学習推進員や図書館と連携し、図書コーナーの充実など、コミュニティセンターの読書環境の充実に努める

回答部署 図書館

令和5年度の具体的な取組内容および取組結果
読み聞かせに関する研修会を市内の図書館3館で実施し、効果的な絵本の読み方や絵本の紹介で家読の推進を図った。ブックスタートで710人、セカンドブックで783人に絵本を提供した。R5.8/2のコミュニティセンター会長会にて、リユース図書の提供とコミュニティ図書室の整理作業の支援について周知した。R5.8/3～8/31の期間、コミュニティセンターへリユース図書の提供を実施し、計471冊（延べ3カ所）の本を提供した。
令和5年度の取組内容に対する評価
保護者向けの講座の実施やブックスタート等で絵本を提供することにより、うちどく推進に繋がっている。コミュニティセンターへのリユース図書の提供は、冊数が多いが提供したセンターの数が少ないので、より周知や図書支援を進めていく必要がある。
令和6年度の事業計画
うちどく推進のため、保護者向けの講座やブックスタート、セカンドブックでの絵本の提供を継続して行なっていく。コミュニティ図書室の充実に向け、リユース図書の提供や整理作業・選書支援等を定期的実施する。

